

政務活動報告書

令和 7 年 11 月 13 日

〔会派名： 自由クラブ 〕

代表者氏名	柏 元三	記録者氏名	木平秀喜
活動者氏名	柏元三、木平秀喜		
活動日	令和 7 年 11 月 9 日（日）～令和 7 年 11 月 10 日（月）		
活動先	東京都日野市多磨平の森 産業連携センター （〒191-0062 東京都日野市多磨平 2-5-1）		
活動目的	市町村財政分析講座の受講		
概要 11月9日、11月10日の2日間、財政勉強会が東京都日野市で行われた。名張市の財政再建に向けた課題を整理し、今後の政策判断や議会活動に活かす事を目的とする。 講座は、第1講から第6講に分類され、最終的には全体の質疑応答が行われた。 ・第1講→議員、市民が財政を学ぶ意識 ・第2講→収支状況を掴む ・第3講→歳入の仕組み ・第4講→歳出の仕組み ・第5講→財政指標の見方、考え方 ・第6講→ちょこっと我がまち財政交流 特に今回注視したのは、地方交付税の考え方、役割である。 地方交付税の役割については、すべての地方団体が一定の水準を維持できるよう財源を保障する見地から国税として国が代って徴収し、一定の合理的な基準によって再分配する。いわば「国が地方に代って徴収する地方税」という性格である。では、一定の合理的な基準とは何なのか？そこで、注視するのが基準財政需要額である。地方交付額＝基準財政需要額-基準財政収入額			



※ここで、基本財政需要額がどの様に決められているのか

- ① 総務関係→人口、面積、議員数
- ② 民生関係→高齢者人口、児童数、世帯数
- ③ 衛生関係→ごみ処理量、火葬場数
- ④ 農林水産関係→耕地面積、森林面積、漁港数
- ⑤ 商工観光関係→事業所数、観光客数
- ⑥ 土木関係→道路延長、橋梁数、公園数
- ⑦ 消防関係→消防署数、消防車両数
- ⑧ 教育関係→学校数、児童生徒数、図書館数
- ⑨ 交通関係→路線延長、停留所数
- ⑩ 上下水道関係→管渠延長、給水人口
- ⑪ 税務会計関係→納税者数、課税件数

およそ、200～300 種類の数量項目（測定単位）が存在し、市町村別に「単位費用」と掛け合わされて基準財政需要額が導き出されているという事です。

結論として本市は、標準財政規模は約 171 億円である。

基本財政需要額が縮小すればするほど、交付税は減少する。

本市は、基本的な財政力指数は 0.63 であり、全国的に見てやや良い方で、標準より上です。そのために交付税が少ないのではなく、自主財源を多く見積もりしているのではないかと考えられる。

本市の交付税が少ないのは、制度上の結果である。

交付税の増額を求めるよりも、まず歳出構造の見直しと事業の費用対効果の再検証を行う事が健全な財政運営への第一歩である。

今後、議会に提案していきたい。